

## 第2章 研究成果の公表

### 論文

- 小林謙一・春成秀爾・遠部慎・綿貫俊一・姉崎智子・橋本真紀夫・丑野毅・岡崎健治「特集 土器の始まりのころ」『歴博』No.139, pp. 1-25, 国立歴史民俗博物館, 2006年11月
- 小林謙一「縄文時代前半期の実年代」『国立歴史民俗博物館研究報告』137集, pp. 89-133, 国立歴史民俗博物館, 2007年3月
- 小林謙一・国立歴史民俗博物館編『縄文時代の始まり—愛媛県上黒岩遺跡の研究成果—』172p. 六一書房, 2008年3月

### 学会発表

- 小林謙一「AMS<sup>14</sup>C年代測定による縄文時代草創期・早期の年代研究」『The 60<sup>th</sup> Annual Meeting of The Anthropological Society of Nippon Abstracts』日本人類学会, p. 21, 2006年11月5日
- 小林謙一・春成秀爾・今村峯雄・西本豊弘「縄文時代草創期の炭素14年代測定」『日本考古学協会第72回総会研究発表要旨』, 日本考古学協会, pp. 69-72, 2006年5月27日
- 小林謙一・今村峯雄・春成秀爾・西本豊弘・坂本稔「縄文時代前半期における<sup>14</sup>C年代測定」『日本文化財科学会, 第23回大会研究発表要旨集』日本文化財科学会, pp. 64-65, 2006年6月17日

### れきはくプロムナード展示

「縄文時代のはじまり—愛媛県上黒岩遺跡の研究成果—」

主催：人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館

---

---

日時：2007年1月17日(水)～2007年2月25日(日)

会場：国立歴史民俗博物館 れきはくプロムナード

歴博共同研究「愛媛県上黒岩遺跡の研究」(代表 本館研究部考古研究系 春成秀爾, 平成16～18年度)の研究成果をとりまとめて, 研究展示を行った。愛媛県久万高原町教育委員会・慶應義塾大学・愛媛県教育委員会・竹口家から研究のために借用した上黒岩遺跡出土品と, 本館所蔵の資料を一堂に展示し, 併せて, 調査当時に愛媛新聞社の報道した記事や愛媛県歴史文化博物館収蔵の調査時の写真記録をパネル展示した。また, 現地測量調査, 遺物整理, 調査記録・写真整理, 周辺環境調査, 遺物のレプリカ法観察結果, 年代測定の研究成果を示した。期間中の土日にはギャラリートークを行った。

展示内容および主な展示資料：

上黒岩遺跡出土 石偶11点, 装身具等10点, 動物骨30点

石器200点(有茎尖頭器, 石鏃, 砥石, スクレイパー, 石錘ほか)

土器100点(隆線文土器, 無文土器, 押型文土器, 条痕文土器, 前期・中期土器)

参考資料 SFC遺跡出土土器・石器30点(有茎尖頭器20点・土器10個体)

写真パネル(久万高原町および愛媛県所蔵パネル20枚)

新聞記事(愛媛新聞社, 14件)

これまでの概報・略報等の書誌(5点)

調査研究資料(当時の日誌, 図面, 今回作成の図面等 5点)

### 第58回歴博フォーラム

「縄文時代のはじまり—愛媛県上黒岩遺跡の研究成果—」

主催：人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館

日時：2007年1月20日(土) 10時～16時30分

会場：国立歴史民俗博物館 講堂

開催趣旨：国立歴史民俗博物館共同研究「愛媛県上黒岩遺跡の研究」での研究成果を公開するとともに, その際に協力いただいた館外の研究者の参加を得て, 縄文草創期・早期の考古学研究の最新状況を一般に紹介する。

開会の挨拶 平川南館長(国立歴史民俗博物館)

「中部ヨーロッパにおける旧石器時代から中石器時代への移行」小野 昭(首都大学東京)

「縄文開始期と同じ頃の西アジア—旧石器時代から新石器時代への移行—」西秋良宏(東京大学総合研究博物館)

「上黒岩ヴィーナスと世界のヴィーナス」春成秀爾(国立歴史民俗博物館)

「岩陰・洞窟遺跡調査の意義」阿部祥人(慶應義塾大学)

「隆線文土器からみた縄文文化のはじまり」小林謙一(国立歴史民俗博物館)

「押型文土器にみる縄文文化成立期の様相」兵頭 勲(愛媛県埋蔵文化財調査センター)

「有茎尖頭器にみる縄文草創期の世界」綿貫俊一(大分県教育委員会)

「上黒岩遺跡における生業活動」姉崎智子(群馬県立自然史博物館)

---

---

「上黒岩遺跡の縄文早期人骨」岡崎健治（九州大学大学院）・中橋孝博（九州大学大学院）

総合司会 永嶋正春（国立歴史民俗博物館）

成果：小林謙一・国立歴史民俗博物館編 2008『縄文時代の始まり—愛媛県上黒岩遺跡の研究成果—』172 p. 六一書房に収録。

#### マスコミ報道関係

- 2006/5/13 愛媛新聞朝刊「久万高原・上黒岩岩陰遺跡 居住開始の年代特定 1万4500—1万5000年前 研究チーム」
- 2006/6/25 朝日新聞朝刊「こだわりレポート 鈴木健輔が上黒岩岩陰遺跡を取材しました 年代、定説の2000年以前 5月の学会で公表 AMS用い判明」愛媛面
- 2006/7/2 愛媛新聞朝刊「上黒岩遺跡 年代新説の行方 上 線刻礫 ビーナス像と時期接近」
- 2006/7/3 愛媛新聞朝刊「上黒岩遺跡 年代新説の行方 中 AMS法試料や出土状況で議論」
- 2006/7/4 愛媛新聞朝刊「上黒岩遺跡 年代新説の行方 下 縄文草創期土器通じ再検討の動き」
- 2007/1/18 愛媛新聞朝刊「久万高原 国史跡上黒岩岩陰遺跡出土 女神石 新たに2点 千葉・国立歴史民俗博物館 研究成果展で公開」
- 2007/1/21 愛媛新聞朝刊「久万高原・上黒岩岩陰遺跡 女神石は出産のお守り？ 国歴博で研究中間報告「世界的視点で評価を」
- 2007/2/26 愛媛新聞朝刊「上黒岩フォーラムから研究は今 上 ビーナス像」
- 2007/2/26 愛媛新聞朝刊「上黒岩フォーラムから研究は今 中 人骨」
- 2007/2/26 愛媛新聞朝刊「上黒岩フォーラムから研究は今 下 隆線文土器」

（小林謙一・春成秀爾）